

# 家庭菜園相談室

## 今月のテーマ

## 「コンパニオンプランツ」を上手に組み合わせよう!

一緒に植えるとお互いの生育が良くなる植物を「コンパニオンプランツ」と言います。様々な組み合わせがありますが、それぞれの作物には相性の良い組合せと相性の悪い組合せがありますので、参考にしてください。

### 相性の良い組合せ

- **キュウリ+ネギ**=ネギの根に寄生する細菌が出す抗生物質により、ウリ科植物のつる割病予防になる。
- **ナス+ニラ**=ニラの根に寄生する細菌が天然の抗生物質を出し、ナスの青枯れ病などの予防になる。




- **トマト+バジル**=お互いの害虫を避け、しかもお互いの味が良くなる。ただし、大玉トマトの場合、先にバジルを植えるとバジルが圧倒的に生育してトマトに悪影響を及ぼす。トマトを先に植え、活着してから小さめのバジルを植えること。
- **トウモロコシ+つるありインゲン**=トウモロコシの根が余分な肥料を吸って、インゲンはつるボケしない。
- **トウモロコシ+エダマメ**=株間を50%以上とって、エダマメ（早生か極早生）を先に播き、少し育てからトウモロコシを株間に播く。トウモロコシのアワノメイガ、エダマメのカメムシを抑える効果も。
- **キャベツ+レタス**=アブラナ科の虫よけにはキク科がいい。キャベツの定植1週間前にレタス（赤系）を植えておく（虫が嫌がる）。
- **ハツカダイコン+キュウリ**=キュウリの定植1週間前に、ハツカダイコンの種を播いておく。ウリバエはハツカダイコンの辛いにおいが苦手。
- **ニンニク+トマト**=翌年トマトを植えるときに、邪魔にならない程度に近い場所でニンニクを育てておくと、トマトの徒長、病害虫が防げる。

### 相性の悪い組合せ

誤って混植・間作すると、せっかくの栽培計画・管理、土作りが根本から台無しになってしまいます。

- **ネギ×ダイコン**=ネギは万能野菜だが、ダイコン、エダマメ、結球野菜には効果がない。ダイコンの根がまっすぐに伸びないことも。
- **ジャガイモ×(ナス科・アブラナ科)**=最悪。ジャガイモは相性の良いネギと輪作させること。
- **ナス×オクラ**=ナス・ゴボウ・オクラの根は、直根で深根。お互いの養分を奪い合ってしまう。
- **イチゴ×ニラ** ● **ジャガイモ×トマト** ● **ジャガイモ×ショウガ** ● **ナス×トウモロコシ** ● **レタス×ニラ**

コンパニオンプランツ	相性の良い農作物	期待される効果
 マリゴールド	アブラナ科	アオムシ、コナガ、ハムシ類を遠ざける
	カボチャ・ズッキーニ	センチュウ類を遠ざけ、生育を助ける
	キュウリ	アブラムシ、センチュウ類を遠ざける
	シントウ・ジャガイモ	害虫を遠ざけ、生育を促す
	スイカ	病気や連作障害を防ぐ
	ダイコン	病気やセンチュウ類などの害虫を避け、連作を可能にする
	トマト・ナス・ピーマン	病害虫を減らし、生育を助ける
	ニンジン	センチュウ類を遠ざけ、きれいな根を作る
	レタス	生育を促す

コンパニオンプランツをうまく使えば、農薬を使わずに害虫を防いだり、植物の成長が期待できます。難しい作業をする必要もなく、基本的に同じ環境に植えるだけです。この機会に相性の良い植物を選んで試してみてください。

家庭菜園に関する相談は、TAC(タック)、支店営農経済担当者までご連絡ください。